

生涯教育研修活動報告書

細胞検査研究班

- 1 実施日時：2023年8月10日 18時00分～19時30分
- 2 会場：Web開催 教科・点数：専門教科－20点
- 3 主題：2023年 認定試験直前!!細胞診セルフチェック 第1弾
- 4 講師：船津 靖亮（株式会社 正和ラボラトリー）
：稲山 拓司（深谷赤十字病院）
- 5 協賛：なし
- 6 参加人数：会員 175名 賛助会員 0名 非会員 0名
- 7 出席した研究班班員：鶴岡慎悟 船津靖亮 急式政志 加藤智美 野本伊織 稲山拓司
並木幸子 小川弘美 猪山和美

8 研修内容の概要・感想など

本研修会は、細胞検査士認定試験の合格を目指す受験者や、細胞検査士が細胞像の復習を行うことを目的として、例年シリーズ化して開催している。今回の研修会は第1弾として婦人科領域と乳腺・甲状腺・リンパ節領域から写真問題の提示と解答の解説を実施した。

講演1では、船津氏より婦人科領域から計18問の細胞像の提示と解答の解説が行われた。婦人科領域は認定試験においても配分の多い分野であり、液状化細胞診（liquid-based cytology:LBC法）を含めた子宮頸部、子宮内膜に加えて卵巣腫瘍にわたり、幅広い内容であった。解説では細胞のとらえ方や着目する点、気を付けるべき所見などについて、初心者でも理解しやすく、試験直前の確認ができる内容であった。

講演2では、稲山氏より乳腺・甲状腺・リンパ節から各4問ずつ、計12問の細胞像の提示と解答の解説が行われた。それぞれの分野において、良悪性の鑑別に主軸を置いた設問であった。乳腺領域では細胞の出現パターンや背景所見、集塊の捉え方、甲状腺領域では様々な症例の鑑別ポイントがまとめられた解説で、リンパ節においては過去の出題傾向をふまえてホジキンリンパ腫・非ホジキンリンパ腫の鑑別を中心に解説が行われた。

実際の認定試験と同様の形式をとった本研修会は、受験者にとっては本番さながらの緊張感をもって参加できた内容と思われる。試験直前の確認として、また経験者の復習としても勉強できる内容であった。

提出日：2023年8月19日

文責：猪山和美